

祝 50 号

包 括 だ よ り

発行所

泉大津市地域包括支援センター

(泉大津市社会福祉協議会)

Tel. 0725-21-0294



我孫子
本田幸子様
91 歳

Q. 若い頃のことを教えて下さい
A. 愛知県出身です。子供時代は両親と五人兄弟(姉、第二人、妹)で暮らしていました。父は転勤が多く、様々な場所に住んでいました。

戦時中、学生時代は学校に行き勉強をしながら、学徒勤労動員で、ゴムの工場や軍服を作る工場で働いていました。愛知県に住んでいた時に、空襲に遭いました。大人の指示に従い土橋の下に逃げ込みました。泥でドロドロになりましたが、空襲の熱ですぐに泥は乾きました。空襲の音は耳に残りました。家族は無事でしたが、家は焼けてしまい、親戚の家に避難しました。終戦後、薬剤師になろうと思ったのですが、家が焼けたこともあり断念しました。洋裁学校に二年通

ってから、五、六年間会計事務所で働きました。その後結婚し、泉大津市に移り住みました。

Q. これまでの生活を振り返って
A. 夫が機械のオートメーションをしていました。夫の手伝い(会計など)をしていました。

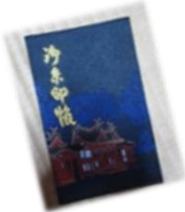
昭和四十一年から五十年間、婦人会に入り、奉仕活動をしていました。活動内容としては、会計(会費、寄付金、神社からの寄付の管理)をずっと担当していました。

穴師神社では恵比寿祭り、春祭り、秋祭りのお手伝い(食事の準備、掃除、袋詰め)清掃などを行っていました。

Q. 今の楽しみは

A. 週に一度デイサービスを利用し、お風呂に入り、食事やおやつをいただき、体操や脳トレをしています。

以前はレース編みをしていました。



旅行が好きで

昔は夫や家族、友人、婦人会などで国内外旅行に行きました。お遍路は三回行きました。それも御朱印を集めています。

今後は団体旅行などは難しいですが、自分のペースで家族と旅行が出来ればと思っています。

Q. 若い人たちへ

A. 家族は大切だと思います。家族がお墓参りしやすいようにお墓を一つにまとめましたが、このことにより家族がよく来てくれるようになりました。ご近所さんが「ご家族がよくお墓参りに見えられますね。」と声をかけてくれることがあり、嬉しかったです。

息子も休みの日にお墓参りに一緒に行ってくれて嬉しく思っています。



家庭でできる食中毒予防の6つのポイント

食中毒の季節です。食中毒菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」予防三原則を守りましょう！



point 1

食品の購入



point 2

家庭での保存



point 3

下準備



point 4

調理



point 5

食事



point 6

残った食品

